



Rotary  国際ロータリー
第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

御殿場 ロータリークラブ

週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2830回 例会プログラム

- 例会場 / 名鉄菜館 ● 開会点鐘 / 18:00
- ロータリーソング / 我らの生業
- 内容 / 前会長・幹事慰労会 並びに 新会員歓迎会

会員慶事

- 会員誕生日 / 7月15日 芹澤正明君
7月15日 小栗幹一君
- 夫人誕生日 / 斉藤礼志君 ご夫人 智子様

会長挨拶

渡辺 修司



御殿場ロータリークラブ2026～2027年会長を務めさせていただきます渡辺修司です。どうぞ1年間よろしくお願いたします。

まずは、この歴史あるクラブを今日まで支えてこられた歴代会長を始め、諸先輩方、そして会員の皆様に敬意と感謝をいたします。自分自身会長という役を前になると、重圧で押しつぶされそうな思いと同時に、「いよいよ始まるな」という期待も感じています。

ロータリーは奉仕の団体ですが、その原点には「人と人とのつながり」があると思っています。例会に集まり、語り合い、笑いあい、その中から信頼が生まれ地域へとつながっていく。その積み重ねがクラブの力になるのではないのでしょうか。そんな意味でも今年は「親睦」を大事にしていきたいと思います。

また、今年度は60周年を迎える節目の年度ですので、その歴史への感謝と、次の世代へとつなぐ責任を意識しながら活動していきます。

もちろん自分1人では何もできません。ロータリーは役職関係なく全員で動く組織です。皆さんの力をお借りして、助言や背中を押していただきながら、1年間を楽しんで進んで行ければと思います。



7/2の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
53名	47名	43名	91.49%	100%

欠席者 (4名) 中島卓也 君 高橋隆造君 田代明人君 上野裕己君
※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。



司会
鎌野篤志君



出席報告
勝亦敦志君



ソングリーダー
梶 喜朗君

7/2のスマイル

ビッグスマイル ・本年度1年間よろしくお願いたします。2人共それなりに務め上げようと思います。 **会長・幹事**

・先週の答え。曾祖父「ひいおじいちゃん」は稲葉博之でした。G・G・F great grand father とAIが教えてくれました。 **稲葉博之君**

6/11のメーキャップ

4月26日	C L L S	池谷正徳君
4月26日	C L L S	勝又 誠君
4月26日	C L L S	橋本喜市君
4月26日	C L L S	山内 剛君
6月 5日	せせらぎ三島	鈴木榮一君
6月 9日	日本ロータリーE	根上眞一君
6月12日	愛知友愛	豊山徹也君
6月14日	ワールド大阪	神谷高義君
6月17日	愛知友愛	斉藤礼志君
6月18日	東京ピースウィング	勝間田太住君
6月19日	愛知友愛	田代明人君
6月22日	東京米山E	上野裕己君
6月22日	HYOGO E	中島卓也君
6月22日	ジャパンカレント	永田美奈幸君
6月24日	長泉RC	白井良太君
6月24日	日本ロータリーE	勝又博文君
6月24日	HYOGO E	林 泰博君
6月24日	東京ピースウィング	森田義彦君

CREATE LASTING IMPACT 持続可能なインパクトを
生み出そう

次回
7月16日の
例会
★東山荘記念館 ★12:30
★五大奉仕委員長 所信表明
大胡田明寿委員長・斎藤 衛委員長
長田富夫委員長・山内 剛委員長

会長・幹事・SAA挨拶



会長 渡辺 修司

会長就任が決まってから、以前よりスマートフォンを見る時間が増えました。何を見ているかというと、「会長挨拶例文」「会長の心構え」…そんな検索ばかりです。ですがどれだけ読んでも最後に行きつくところは、自分らしくやるしかないということです。

伝統あるクラブの会長というプレッシャーに押しつぶされる思いですが、同時に、この1年を皆さんと一緒に笑い、一緒に考え、一緒に行動する会長でありたいと思っています。そして、困ったときには遠慮なく皆さんのお力をお借りしたいと思えます。

今年度、御殿場ロータリークラブは創立60周年という大きな節目を迎えます。60年。人であれば還暦です。最近では人生100年時代と言われるので60歳はまだまだ若手かもしれません。クラブも同じで60年積み上げてきた歴史を誇りながら、ここから先をどう作るかが大切なのだと思います。

我々は先輩方から受け継いだ伝統の上に立っています。例会、奉仕活動、友情、地域との信頼。それらは自然に残ったものではなく、自分たちが守り育てたという思いが積み重なって今があるのではないのでしょうか。だからこそこの60周年は振り返る年であると同時に、未来へのスタートの年でもあります。

そして、今年度R1ババロア会長が掲げるテーマは、
CREATE LASTING IMPACT

「持続可能なインパクトを生み出そう」
です。

インパクトというと、大きな事業や派手な活動を想像しがちですが、持続可能なインパクトとはそれだけではないと思います。

毎週例回に参加する、仲間に声をかける、地域の行事に関わる。新しい会員を温かく迎える。こんなことの積み重ねが、結果として地域や次世代に長く残る力になるのではないのでしょうか。そういうことの継続こそがロータリーの強さだと思います。

そこで今年度は「規律ある親睦」という自分なりのテーマで臨みたいと思います。親睦という言葉はロータリーではとても大切です。ただ、親睦と聞くと楽しく、和気あいあいというイメージもあるかもしれませんが、もちろんそれも否定しません。ですが、その親睦を支えるのは規律です。

例会時間を守る。役割を引き受ける。相手を尊重する。出席する。話を聞く。こうした当たり前の積み重ねがクラブの居心地をよくするのだと思います。私は厳しいクラブを目指したいわけではありません。むしろ逆です。

「規律があるから自由に楽しめる」そんなクラブにしたいと思っています。ゴルフでもルールやマナーがあるからこそ、初対面の人も気持ちよくラウンドできます。ロータリーも同じではないのでしょうか。

60周年という節目の年だからこそ、会員同士のつながりも大切にしたいと思っています。クラブの魅力は事業だけではありません。会いたくなる仲間がいる。これが一番の魅力、財産だと思います。

例会に来ると元気になる。誰かと話すと新しい発見がある。そんな空気を皆さんと作ってあげたいと思います。

最後に、1年後この年度を振り返った時、何か大きなことをやった。ではなく、みんなで気持ちよく活動できた。そう感じてもらえたら、それこそが持続可能なインパクトではないでしょうか。

60年の歴史への感謝と、未来への希望をもって皆さん全員と歩いていきたいと思っています。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



幹事 勝又 安彦

本年度幹事を務めさせていただきます勝又安彦と申します。皆様1年間なにとぞよろしくお願いいたします。

前会長幹事 前委員長のそしてメンバーの皆様大変お疲れ様でした。

幹事とは何をやる役職かは、薄々は分かっているものの、実際被選理事会などを行うときに、初めてその重要さが分かりました。

とにかく資料を作る、周りを見渡す、会長の補佐をする。いままで委員長はやったことがありますが、幹事の事はクラブ全体のことなのであたふたしました。その中で前幹事の勝又厚君には大変お世話になりました。同級生ということもあり、言い合いになったときもありましたが、丁寧に教えていただきました。

年度が変わり、被選理事会を経てとうとう第1回目の理事会を開くことが出来ます。段取り八分仕上げ二分ということわざがありますが、段取りは上手くいったのが心配です。

新しい渡辺年度が始まりました。とりあえずは12月のクリスマス例会まで集中し、1月の新年例会からまたリセットし、年度最後まで走りきりたいと思います。

多分皆様からは、格好からして変わり者だと思われると思います。気が利かない男だとも思われてると思います。しかしながら今年度1年は何卒ご協力、そして助言などお願い致します。

幹事を経験した諸先輩の助言は宝物です。注意された事などは胸に刻み改善いたします。もう一度幹事をやってみたいと思うように、1年間努力いたします。

本年度1年間よろしくお願いいたします。



SAA 澁谷 一

今年度、SAA委員長を務めさせていただきます澁谷一です。副SAAの勝間田太住君と共に、1年間努めていきますので、よろしくお願いいたします。

ロータリーの基本は例会です。例会を楽しく、秩序正しく、品位を持って運営できるようにクラブ運営、プログラム両委員会と理事会と一緒に進めていきます。

ここで、会員皆さんに例会時の対応でお願いしたいことがあります。

テーブルの席次は、3ヶ月ごとに変更します。テーブルには、入会年度が異なる会員の組み合わせで世代間のバランスに配慮しています。各テーブルでは、会員同士の会話や食事を楽しんでいただき、且つ、会長挨拶や卓話等の時には、私語は控えていただき、楽しい中に規律ある時間を過ごしてほしいと思います。

ここであるお話をします。入口受付の机に置いてある「お静かに」の木札は、本来、SAAの席にあるものです。作成した経緯は、勝又安彦幹事の父で第27代会長でした勝又英雄さんがSAAの時に、作成しました。その当時は、会長挨拶時に、まだ私語などで騒然とした現状があったようでした。会長在任時に勝又さんとして、何かを感じての判断だったような気がします。その後、使用することが無く、私語は皆無と感ずります。また、行動計画書の追加としてクールビズを加えます。時事の環境に合わせて適宜告知していきます。